

# 「北上市教職員 働き方改革プラン(R7~9年度版)」の概要

令和7年4月  
北上市教育委員会学校教育課



## 1. 前プランに対する評価

目標「2か月間ないし6か月間の時間外勤務が1か月あたり80時間以上の教職員をゼロにする。」

年	【実績】 80時間以上の職員の数 (割合(%))			(目標) 80時間以上の職員の数 (割合(%))		
	うち100時間以上			うち100時間以上		
R3	73 (12.9)		19 (3.3)		—	—
R4	45 (8.0)	○	7 (1.2)	△	44 (7.7)	0
R5	42 (7.7)	△	9 (1.6)	△	23 (4.0)	0
R6	27 (5.0)	△	10 (1.8)	△	0 (0.0)	0

## 2. 「働き方改革」の目的

教職員が担うべき業務に取り組むことができる時間を確保するとともに、一人一人が誇りとやりがいをもって職務を遂行できる環境を整備することにより、学校教育の質の向上を図る。

## 3. プランの期間

令和7年度から令和9年度までの3か年度

## 4. プランの目標

時間外在校等時間の縮減

- 時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。
- 時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。

時間外在校等時間	令和7年度	令和8年度	令和9年度
45時間以上	前年度実績より減少	前年度実績より減少	前年度実績より減少
80時間以上	ゼロ	ゼロ	ゼロ

## 5. 具体的取組

### I 教職員の負担軽減の取組

#### ①「チームとしての学校」の推進

- ア 業務改善に向けた学校マネジメントの推進
  - ☞実効性ある労働衛生委員会、具体的な行事等の精選や見直し
- イ 事務の共同処理の推進
  - ☞共同学校事務室の立ち上げ、継続した事務職員の学校経営参画
- ウ 登下校に関する関係機関・地域との連携強化
- エ 地域とともにある学校
  - ☞コミュニティ・スクールの充実
- オ 専門スタッフ等の配置の拡充
  - ☞専門スタッフの配置、支援員の拡充

#### ②教職員業務改善

- ア 学校給食費の公会計化・申請窓口の変更と電子化
- イ 会議、研修、調査、研究指定等の精選
  - ☞オンライン化、ペーパーレス化の推進
- ウ ICT等の活用

☞校務支援システムの準備

#### ③部活動の適正な運営

- ア 北上市における部活動方針の確実な運用
  - ☞市内共通の休養日、活動時間、適切な部活動運営
- イ 部活動指導員の配置、土日休日の部活動の地域移行(展開)

### II 教職員の健康確保等の取組

#### ①勤務時間の適正管理

- ア 校務支援システムによる客観的な勤務時間管理
  - ☞データに基づいた業務改善、担当、組織の見直し
- イ 業務推進に係る時間の確保
  - ☞市内共通の時間外の外部対応方針の設定
- ウ 盆・年末年始等の学校閉庁日の設定

#### ②心とからだの健康対策

☞産業医による保健指導